

# 難関 電験三種に合格、笑顔

## 半田工高 恒川さん 夢のため勉強

半田市の半田工業高校電気科三年の恒川達哉さん(21)が、電気設備の保安監督を担う国家資格「第三種電気主任技術者」(電験三種)の試験に合格した。大学卒業レベルの知識も求められる難関。恒川さんは「これからの仕事に生かしたい」と話す。

恒川さんは鉄道会社に入社する夢があり、役立つ知識を身に付けようと同校に入学。一年生の時に担任教師から勧められ、電験三種の受験を決意し、地道に勉強してきた。試験は、理論、電力、機械、法規の四科目を三年以内に合格する必要がある。恒川さんは二年時に理論、電力、機械の三科目に合格していたため、三年時は法規のみを受けて合格した。今年、県内で合格した高校生は恒川さんを含め計六人。社会人を含めた全体の合格率は9・3%だった。



電験三種に合格した恒川さん(半田市の半田工業高で)

恒川さんは夢をかなえ、四月からJR東海で電気の保守保全の仕事をする事が決まっている。「卓球部と勉強の両立は大変だった

けれど、学校や家で過去問などを解いて勉強した。鉄道が好きなので夢がかなってうれしい」と話した。(垣見窓佳)